クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス Email Security あんしんプラス 導入手順マニュアル

Version 2.3

日本事務器株式会社

改版履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2016/8/10	新規作成
2.0	2019/1/9	改訂 ・「導入の流れ」の変更 ・「ドメインの登録」の追加 ・「画面イメージ」の変更
2.1	2019/2/13	改訂 ・「あんしんプラススタンダード」送信メール監視の追記
2.2	2019/3/13	改訂 ・受信保護設定VirusとSpam or Phishのポリシー設定の注意事項追記
2.3	2019/7/10	改訂 ・GSuiteでの送受信ゲートウェイ設定の追記 ・資料一部修正

目次

<u>1.はじめに</u>

<u>2.導入の流れ</u>

<u>3.設定</u>

- <u>3.1. ログイン</u>
- <u>3.2. ドメインの登録</u>
- <u>3.3. ドメインの確認</u>
- <u>3.4. 受信保護設定</u>
- <u>3.5. 送信保護設定</u>
- 3.6. 隔離通知設定

<u>4.DNSの設定変更</u>

<u>4.1. MXレコードの変更</u>

4.2. SPFレコードの変更・追記(送信メールを有効にする場合)

<u>5.動作確認</u>

- 5.1. MXレコード変更確認
- <u>5.2. 受信テスト</u>
- <u>5.3. 送信テスト</u>

1.はじめに

本マニュアルは、Email Securityあんしんプラス(以下「ESあんしんプラス」と称す)」の導入手順書です。 導入までの手順について説明いたします。

2.導入の流れ

「事前準備」 ・Email Securityあんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧 https://usersguide.anshinplus.jp/

「ESあんしんプラス」環境設定 ・ドメインの登録、確認 ・ポリシーの設定(受信保護設定・送信保護設定) ※VirusポリシーとSpam or PhishポリシーはDNS設定変更後に設定が可 ・隔離の設定 ・メール受信テスト	「能となります
ファイアウォール・メールサーバの設定変更	
	_
DNSの設定変更	
動作確認	

3.設定

3.1. ログイン

ライセンス発行完了のメールを<u>etmcm@nic.co.ip</u>より受信します。

口☆	📄 etmcm@njc.co.jp	受信トレイ	[通知] あんしんプラス ライセンス登録完了のお知らせ
----	-------------------	-------	-----------------------------

メールに記載されているURLへアクセスし、アカウントとパスワードを入力してログイン してください。

NJC ウイルスバスター ビジネスセキュリティ	サービス™あんしんプラス _{管理コンソー} 」
©サポード受付時間:平日9:00~17:30 ◆ユーザーズガイドは、以下URL上りダウンロードしてください。 http://usersguide.anshinplus.jp/ 「ウイルスパスタービジネスセキュリティサービスあんしんプラス ユーザーズガイド」をクリック します。	登録情報を入力してください アカウント: パスワード: パスワードのリセット パスワードをお忘れの場合 アカウント名を記憶する ロジイン アカウントをまだ取得していない場合 今まぐ金録

※他あんしんプラスサービス(VBBSSやCloud Edgeなど)を既に導入している場合 →アカウントとパスワードは同じになります。

※ESあんしんプラス以外にあんしんプラス製品を導入していない場合

→アカウント登録完了のメールよりログインID(アカウント)を確認してパスワードの 発行をおこないます。



ログイン完了後、Email Security あんしんプラスの「コンソールを開く」をクリックします。

1	NJC ウイルスバスター ビジネスセキュリティサー	ビス™あんしんプラス 管理コンソール					ようこそ:
緑済は	◎の製品/サービス ユーザ登録情報 ヘルプ -						
泉 済	みの製品/サービス						
[]	EST】SSDA1ヶ月のライセンスの有効期限は終了しています。						
++-	σλ					•	
1	ヤービスプラン名	☆ 製品/サービス	シート/ユニット キ	ライセンス種別 ⇔	開始日 ⇔	有効期限	アクション
(loud Edge あんしんプラス100	Cloud Edge 100	2シート	製品版	2016/03/30	自動更新	▶ コンソールを開く
(Cloud Edge あんしんプラス50	Cloud Edge 50 🛞	2シート	製品版	2015/10/09	自動更新	
(SSLあんしんプラス スタンダード	Client/Server Suite Basic Pack	5 シート	製品版	2012/06/01	自動更新	
E	imail Securityあんしんプラス スタンダード	HES 🏟	10 シート	製品版	2017/02/20	自動更新	□ンソールを開く
	SUAのんしんノブス	 Deep Security Advance (3 コンホーネント) 	505	製面版	2014/08/01	目勁更新	
١	BBSSあんしんプラス スタンダード managed	ウイルスハ スター ビ ジ ネスセキュリティサービ ス 一種形	40 シート	製品版	2011/04/05	自動更新	□ンソールを開く
	【TEST】 SSDA1ヶ月	▶ Deep Security Advance (3 コンポーネント)	1 OS	製品版	2018/04/05	2018/05/04	

3.2. ドメインの登録

ドメインを追加				
全般	全般			
受信サーバ	① <mark>*ドメイン名:</mark>			
送信サーバ		追加するサーバで管理されるメールアトレスのアット い。	マーク記号(四)の石側にある文子をすべて人力してくた	2
	2 *ライセンス数:	シート (残り90シート)		
	T7 /= 1 1			
	安信サー八 () ③ * @<ドメ-	イン名> IPアドレスまたはFQDN	ポート プリファレン - +	
	受信サーバ () ③ * @<ドメ- ④ テストメッセージの送信先: ()	イン名> IPアドレスまたはFQDN @<ドメイン名>	ポート プリファレ≳ = +	
	受信サーバ () ③ * @<ドメ- ④ テストメッセージの送信先: () 送信サーバ	イン名> IPアドレスまたはFQDN @<ドメイン名>	ポート プリファレン - +	
	 受信サーバ() ③ * @<ドメ- ④ テストメッセージの送信先:() 送信サーバ ⑤ 〕 送信保護を有効にする 	イン名> IPアドレスまたはFQDN @<ドメイン名>	ポート プリファレン - +	
	受信サーバ ③ * @<ドメ- ④ テストメッセージの送信先: ① 送信サーバ ⑤ 送信保護を有効にする 送信サーバを指定します。	イン名> IPアドレスまたはFQDN @<ドメイン名> Office 365	ポート プリファレン – +	
	 受信ザー八() 3 * @<ドメ- 7ストメッセージの送信先:() 送信サーバ 送信サーバ 送信サーバを指定します。 	イン名> IPアドレスまたはFQDN @<ドメイン名> Office 365 Google G Suite ユーザ指定のメールサーバの	ポート プリファレン –) +	

コンソールを開くと次のような画面が表示されます。

各項目に必要情報を記入してください。(●必須)

●①お客様ドメイン名

●②ご契約いただいたライセンス(メールアカウント)数

●③お客様のメール受信サーバの環境情報を入力します。

「IPアドレス/FQDN」

「受信ポート」 (SMTP: 25番、MSA: 587番、SMTPS: 465番)

「プリファレンス値」(受信メールサーバの優先度。値が小さいほど優先度が高い。) ※多数のメールサーバを用意して負荷分散や耐障害性向上を図っている場合

・受信サーバがG suiteの場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	1
ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT3.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10
ALT4.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10

・受信サーバがOffice365の場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
<domain>.mail.protection.outlook.com</domain>	25	1

※<domain>部にはお客様のドメインをご記入ください。

●④テストメッセージの送信先

EmailSecurityクラウド基盤からテストメッセージを配信します。

動作確認のためのお客様メールアドレス(@前まで)を入力します。

【要注意】

テストメッセージの送信先は空欄でもエラーは発生しませんが、正常にドメイン登録 が完了したことを確認する重要な工程のため必ず入力してください。 テストメッセージの受信ができないまま導入を進めた場合、運用開始後にメールが受 信できなくなる可能性があります。 必ずテストメッセージが受信できることを確認してから次の工程へ進んでください。

※テストメッセージ

emailsecurity@hes.trendmicro.com Hosted Email Securityからのテストメッセージ

Hosted Email Securityをご利用いただきありがとうございます。

これは、Hosted Email Securityからお客様の MTA へのメールメッセージの配信を確認するためのテストメッセージです。

作業手順

このドメインがHosted Email Securityですでにアクティベートされている場合、作業は必要ありません。

ただし、このドメインがHosted Email Securityに新しく追加されたものである場合は、アクティベーションが完了していな い可能性があります。このドメインのアクティベーションを完了するには、登録メールアドレス宛てに送信しました登録完了 メッセージの手順に従ってください。

i詳細については、オンラインヘルプの「アクティベーションの完了」を参照してください。<u>http://docs.trendmicro.com/ja-</u> <u>jp/hes/gsg/activation_finalizing.html</u>

⑤送信保護の有効/無効(※無効の場合は⑥と⑦は未記入で可)

送信メールをスキャンするか否かの設定となります。

⑥送信サーバの選択「Office365」「G Suite」「ユーザ指定」

EmailSecurityクラウド基盤上で、お客様送信メールの受け入れを許可するために必要 なメール送信サーバ情報を記入します。

⑦送信サーバのIPアドレス

送信サーバを有効にする場合、本書「4.2 SPFレコードの変更・追加の設定」を忘れ ずおこなってください。

「ユーザ指定」を選択した場合、送信用メールサーバのIPアドレスを入力します。

⑧ドメインを追加を押下(すべての設定事項記入後押下)

3.3. ドメインの確認

正常にドメイン登録が完了した場合、以下のとおり<u>hosted_email_security@trenmicro.com</u>より Hosted Email Securityのご利用案内が送信されます。

※Hosted Email Security (HES) はトレンドマイクロ社のクラウド型メールセキュリティサービスの 名称です。Email Securityあんしんプラスは、HESをベースとしたサービスとなっています。

このメールはお客様の管理者アドレスとテストメッセージの送信先に入力したアドレスへ送信されます。

Ho	osted Email Securityのご利用案内 📄 👳 🔤 トレイ 🗴
?	Trend Micro Hosted Email Security AUTOMATED EMAIL-DO NOT REPLY <hosted_email_security@trendmicro.com< th=""></hosted_email_security@trendmicro.com<>
	本メールには、アカウントに関する重要な情報と作業手順が含まれていますので、大切に保管しておいてください。
	Hosted Email Securityをご利用いただきありがとうございます。
	お客様のドメイン「「「」の登録が完了しました。
	作業手順
	1. ドメインを所有していることを証明するには、次のTXTレコードをドメインのDNS設定に追加します。 hes=
	2. Hosted Email Securityでメールメッセージを受信するには、次の手順に従ってください。
	1) 次のHosted Email Securityサーバのメールメッセージを許可するようファイアウォールを設定します。 54.86.63.64/26 54.219.188.0/26
	^{54,219,191,025} ※このアドレス帯は変わることがございます。
	2) プリファレンス値が最小の次のHosted Email Securityサーバをドメイン内のMXレコードが指すように設定します。 in hes trendmicro.com

※G Suiteのファイアウォール設定については下記リンクをご確認ください。 https://usersguide.anshinplus.jp/GSuite_Setting.pdf

3.4. 受信保護設定

※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。

・Email Securityあんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧 <u>https://usersquide.anshinplus.jp/</u>

ダッシュボード ドメイン	受信保護設定 👻	送信保護設定 🚽	隔離		ログ・	管理 🕶	ヘルプ・
ダッシュボード	ポリシー 受信者フィルタ			-			
管理対象ドメイン hes3.njc.ne.jp	送信者フィルタ ポリシーオブジ:	ェクト	•	: O			
脅威の概要 上位	ビジネスメール 検索除外	作欺 (BEC)					
ランサムウェア検出の詳細	IPレピュテーシ: Transport Laye ドメインベースI Time-of-Clickフ	ョン r Security (TLS) b 認証 『ロテクション	・ ピア ・)=`	ッサムウ・	「フ検出」	の詳細 - 2

2.ポリシーを変更する場合 変更したいルールをクリックします。

4 9	シュボード	ドメイン	受信保護設定・送信保護設定・用意・ログ・管理・ヘルプ・			
受信保	(護設定) ポ	リシー				0
會用対象	象: すべての	ドメイン	 すべてのルール・ 			
C	iiito q	102-)(會 刑除		表示: 1 - 6 /	6 15 ・ 件/ページ
٠	実行順序 ▲	ステータ	<i>n</i> - <i>n</i> \$	処理 ≑	変更日 🕴	最終使用日時
	1		.njc.ne.jp: Virus	削除	2016/08/08	なし
۰	2	8	.njc.ne.jp: Exceeding msg size or # of recipients	削除	2016/08/08	なし
	3		.njc.ne.jp: Spam or Phish	削除	2016/08/08	なし
0	4	\odot	.njc.ne.jp: High-risk attachment	院離	2016/08/08	なし
۵	5	\odot	.njc.ne.jp: Newsletter or spam-like	件名にタグを挿入	2016/08/08	ねし
8	6	Ø	.njc.ne.jp: Password protected	スタンプ	2016/08/08	なし

				the second second second second	
信保護設定 > ポリシ	シーッパー	ルの編集			
基本情報	Ø	ステータス:	☑ 有效化		名前:
受信者と送信者	ø	*8.00:	.njc.ne.jp: High-risk attachment		ステータ 有効
後需条件	0	備考:	- High-risk attachments: matchtyne:anymatch		A:
边理	0		- Executables - Large uncompressed files -n - Me	dia files	受信者と送信
					メッセージが次の場合: 受信
					njc.ne.jp弾て (まとたい)
					任意のアドレスから
		作成日:	2016/08/08 07:51:16 変更者:		被索条
		最終更新日:	2016/08/08 08:42:05 変更者:		およびメッセージの属性が次に一致: 添付ファイル名が次に一致:
					(および)
					常村フライルのMIMEタインが次に一致: (および)
					ポペファイルの実際のファイルタイプが次に一致:
					(およい) 添付ファイルのサイズが次に一致する 次の絶より大きい: SMB
					(および)
					本何ファイルの数が次に一致する 次の値より大きい:20
					上の保存が満たされた場合に次の処理を行う:

変更したい項目をクリックして変更後、〔送信〕をクリックして登録します。

3.ポリシーを追加する場合 [追加]をクリックします。

9 9	****	FX-12	受信保護協定・ 送信保護協定・ 肥業・ ログ・ 算要・ ヘルプ・			
2 6 6	建設定。オ	いシー				0
產用対 的	9: すべての	ドメイン	 すべての)レーンレ * OK 			
C	ieta d	852-	(B) alia		表示: 1 - 6 /	6 <u>15</u> ▼ #/ページ
	実行順序 ▲	ステータ	Ju-Ju	95理 0	爱更日 💧	局税使用日時 ()
	1		njcpftech0001 :hes.njc.ne.jp: Virus	削除	2016/08/08	なし
8	2	8	njcp/tech0001 :hes.njc.ne.jp: Exceeding msg size or # of recipients	剤時	2016/08/08	なし
	3		njcpftech0001 :hes.njc.ne.jp: Spam or Phish	削除	2016/08/08	20
	4	0	njcpftech0001 :hes.njc.ne.jp: High-risk attachment	見想	2016/08/08	なし
	5	0	njcpftech0001 :hes.njc.ne.jp: Newsletter or spam-like	件名にタグを挿入	2016/08/08	なし
	6	0	njcpftech0001 :hes.njc.ne.jp: Possword protected	スタンブ	2016/08/08	なし

すべての項目を設定し、〔送信〕をクリックして登録します。

ダッシュボード	FX45	受伤保健遗定。	送后保遗設定 -	NU21 -	07 -	8理 -	~JJJ +	
信保護設定 > ポ!	リシー・ルー	ルの追加						(
								また キャンセル
基本情報	0	ステータス:	图 有効化					4.66:
受信者と送信者	0	*名前:						ステータ 有効
输需条件	Ø	催 号:						*
(f).20	0							受信者と送信者
X19±	U							メッセージが次の場合:
								नाट
								(および) 任意のアドレスから
								侦察条件
								およびメッセージの属性が次に一致:
								なし
								免日
								上の条件が満たされた場合に次の処理を行う: メッセーラをインターセプトしない
								Contraction of the Contraction of Apart 1, Market 11
								送信 キャンセル

※この段階ではポリシー「Virus」と「Spam or Phish」の有効化および設定の編集はできません。 本手順書[4.1:MXレコードの変更]、[5.1:MXレコード変更確認]が完了後、 「Virus」と「Spam or Phish」の有効化および設定の編集が可能となります。

3.5. 送信保護設定

- 1.【ポリシーを変更・追加する場合】 [送信保護設定]-[ポリシー]をクリックします。
- ※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。
 - ・Email Securityあんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧
 - https://usersguide.anshinplus.jp/

ダッシュボード	FX1>	受信保護設定 🗸	送信保護設定 👻	隔離 -	ログ・	管理 🗸	ヘルプ・
ダッシュボード			ポリシー	- 75			
管理対象ドメイン		▼ 方向 受信 、	ボリシーオンシ 検索除外 Transport Laye	er Security	・(TLS) ピア		
脅威の概要	上位	その他の統計	DomainKeys Io	dentified M	Iail (DKIM)	署名	

2.ポリシーの変更、追加手順 受信保護設定と同様です。 受信保護設定のときと、送信者、受信者が逆になりますので注意してください。

3.6. 隔離通知設定

必要に応じて隔離の「通知設定」をします。デフォルトは「無効」になっています。

1. [隔離] ー [通知設定] をクリックします。

ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 🗸	送信保護設定 🛨	隔離 👻	ログ・	管理 🗸	ヘルプ・
ダッシュボード				クエリ			
				エンドコ	2ーザメーノ ≊	し隔離コンン	ノール設定
管理対象ドメイン		▼ 方向 受信	• 一意のメールアド	通知設加	-		

2.対象ドメインを選択し、ステータスを有効にします。

ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 🔹	送信保護設定 +	隔離 -	ログ・	管理 -	ヘルプ・		
隔離 > 通知設定									
基本情報									
管理対象ドメイン:		.njc.ne.jp							×
ステータス:		(一) 有効							

3.通知メールのスケジュールを設定します。

ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 -	送信保護設定 -	和雄 -	ログ -	管理 -	ヘルプ・		
隔離 > 通知設定									
基本情報									
管理対象ドメイン:		njc.ne.jp							٣
ステータス:		■ 有効							
通知メールのスケジ	ia-1								
頻度:		毎日							¥
スケジュール:		00:00 •	+						
通知メールテンプレ	-ŀ								

頻度が[毎日]の場合
 通知できる時間は、1日3回までとなります。

MAX-100A991-1		
趙度:	每日	Ť
スケジュール:		

頻度が[毎週]の場合

通知する曜日にチェ	ックを付けます。
通知できる時間は、	1日1回となります。

頻度:	每週	
スケジュール:		

4.DNSの設定変更

- 4.1. MXレコードの変更(Windows Server2012 R2の場合)
 - 1. [サーバーマネジャー]を起動し [ツール] [DNS] をクリックします。



2. [前方参照ゾーン] – [ドメイン名] を選択し、種類が [Mail Exchanger(MX)] を ダブルクリックします

•	DNS	マネージャー	_ _ ×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	∿⊮プ(H) ፻፹ ፤ ፪ ធ		
 ■ DNS ■ HESMAIL ■ 前方参照ソーン ■ hes.njc.ne.jp ▶ ● hes2.njc.ne.jp ▶ ● 逆引き参照ソーン ▶ ● ビヨうトポイント ▶ ● キラストポイント ▶ ● キワストパイント ▶ ● ● キワストパイント ▶ ● ● キロー 	名前 mail (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ)	種類 ▲ Host (A) Mail Exchanger (MX) Name Server (NS) Start of Authority (SOA) Text (TXT)	データ [10] mail.hes.njc.ne.jp. hesmail. [2016072702], hesmail., hostm MS=ms88532153

3. メールサーバーの完全修飾ドメイン名(FQDN)へ案内メールで通知されたFQDNを入力 し、[適用]をクリックします。

	hes.njo	c.ne.jp Ø	プロパティ	r		?	X
メール エクスチェンジャー (1	4X)						
ホストまたは子ドメイン(H):						
(親フォルダーと同じ)							
既定では、メール エクスチ す。ホスト名または子ドメー 欄のままになります。 完全修飾ドメイン名 (FC	エンジャー レ イン名を指定 DDN)(U):	コードの作成 できますが、に	時に DNS まとんどの展	は親ドメー 開では上	イン名を のフィー	使用していたは当	H6 PL
.ne.jp							
メール サーバーの優先順	位(S):				参照	i(Β)	_
メール・ワーハーの産元頃	111(5):						
22							

4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。

(SPFレコードの変更・追記をする場合は、SPFレコードの変更・追記後に設定して ください)

種類が [Start of Authority(SOA)] をダブルクリックします。

Å	DNS	マネージャー	_ D X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(H) 【 前 1 1 1 1		
 ▲ DNS ▲ ● HESMAIL ▲ ● 前方参照ソーン ※ hes.njc.ne.jp ※ hes2.njc.ne.jp 	名前 mail (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ)	種類 Host (A) Mail Exchanger (MX) Name Server (NS)	データ [10] in.hes.trendmicro.com. hesmail.
 ▶ 〇〇 逆引き参照ソーン ▶ 〇〇 ドラスト ポイント ▶ 〇〇 条件付フォワーダー ▶ 〇〇 ダローバル ログ 	(親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	MS=ms88532153

5. [増加]をクリックしてシリアル番号を増やすか、シリアル番号を直接入力して増加して [OK]をクリックします。

	he	s.njc.r	ne.jp のプロ	パティ	?
≧般	SOA (Start of Aut	hority)	ネームサーバ		ノーンの転送
シリア	ル番号(S):				
201	6072702				増加(N)
プライ	マリ サーバー(P):				
hest	mail.				参照(B)
責任	者(R):				
host	tmaster.				参照(0)
更新	間隔(E):	15	分	~	
再試	行間隔(∨):	10	 分	~	
期限((X):	1	B	~	
最小	TTL 値 (既定)(M):	1	時間	~	
このレ	コードの TTL(T): 0		1 :0 :0	(DDDDD):HH.MM.SS)
	ОК	\$	ヤンセル	適用(A)	ヘルプ

6.DNS Serverサービスを再起動します。

サービスを起動して [DNS Server] で右クリックし、 [再起動] をクリックして再起動します。

93		サービス					x
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)						
) 🔂 🚺 🖬 🕨 💷 🕪						
🌼 サービス (ローカル)	◎ サービス (ローカル)						
	DNS Server	名前		説明	状態	スタートアップの種類	[^
		DNS Client		DN	実行中	自動 (トリガー開始)	1
	サービスの停止	DNS Server		DN	室存由	自動	1
	サービスの再記動	Encrypting Fil	開贻(S)			手動 (トリガー開始)	L
		Sector ExpressMail C	停止(0)		2	自動	•
		ExpressMail F	一時停止(U)		P	自動	· _
	記明: DNS カライアントが DNS カエリや動的	ExpressMail I	再開(M)		P	目動	. =
	DNS 更新の要求に応答することで DNS	Sector ExpressMail L	再起動(E)		P	目動	•—
	名を解決できるようにします。このサービスを	Sector ExpressMail F	オペアのタフカバ	0		自動	
	一得止すると、DNS 更新は発生しません。こ のサービフを無効にすると このサービフに阻	ExpressMail F	9.((0))/)(1	5	C	日期	•
	示的に依存するサービスは起動できなくなり	Expressivall S	最新の情報に見	€新(F)	-	日則	
	ます。	Extensible Au	プロパティ(R)			于動	5
		C Function Disc				ナ動	1
		Group Policy Clie	ant	管理	主行中	テシ 自動(トリガー開始)	ì

4.2. SPFレコードの変更・追記(送信メールを有効にする場合)

SPFレコードを使用する場合、変更または追記が必要になります。 1.種類がText(TXT)、データがv=spfで始まるところでダブルクリックします。

Ă		DNS マネージャ	7—
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	∧ルプ(H)		
🗢 🔿 🙍 🛅 🚺 🙆	2 🖬 🗄 🖬		
A DNS	名前	種類 ▲	データ
A HESMAIL	mail	Host (A)	61.120.61.50
⊿ 🧰 前方参照ゾーン	(親フォルダーと同じ)	Mail Exchanger (MX)	[10] mail.hes.njc.ne.jp
hes.njc.ne.jp	(親フォルダーと同じ)	Name Server (NS)	hesmail.
hes2.njc.ne.jp	(親フォルダーと同じ)	Start of Authority (SOA)	[2016072707], hesmail., hostmaster.
▶ 📔 逆引き参照ソーン	(親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	MS=ms88532153
	(親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	v=spf1 include:spf.hes.njc.ne.jp ~all
▷ == 〒11/Jオリーター ▷ == グローバル ログ			

- 2.プロパティが表示されたらテキストを変更または追記し、[OK]をクリックします。 ドメインスペックに "spf.hes.trendmicro.com" を指定します。
 - (例)

E±75 (TXT)			
エイリアス名 (空欄の	の場合は親ドメイン名を使	围)(R):	
(親フォルダーと同じ			
完全修飾ドメイン名	(FQDN)(F):		
hes.njc.ne.jp			
-t7h(F).			
v=cnf1 include	enfhas trandmissa s	llev. mo	
v-spir meldee	aphilicate charmerote	onnordin	-
			~
<			>
<			>
<			>
<			
<			>
<			>
٢			>

3.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。

「MXレコード変更 4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します」を参照してください。

4.DNS Server サービスを再起動します。 「MXレコード変更 5.サービスを起動する」を参照してください。

5.動作確認

5.1. MXレコード変更確認

1.管理コンソールヘログインします。 2.ドメインのステータスを確認します。 メニューバーから [ドメイン] をクリックします。 ステータスを確認します。「アクティベート済み」の場合は、受信テストへ進んでください。

ドメイン						0
 ● 道加 ● 削除 ● MXレコードのチェック 					表示:	1-1/1 15 • 4/ページ
ドメイン名	受信サーバ	送信サーバ	送信メッセージの検索	シート数		ステータス 0
			有劝	1	2016/08/08 07:51:16	追加中 🌣
 ● 追加 ● 自用除 ● MXレコードのチェック 					表示:	1・1/1 15 ▼ 件/ページ

ステータスが追加中の場合は、チェックを付けて、 [MXレコードのチェック] をクリックします。

ステータスが「アクティベート済み」	になればアクティベー	ト終了です。
-------------------	------------	--------

					in the charge of the contract of	
	(レコードのチェック				表示:	1 - 1 / 1 15 •
ドメイン名	● 受信サーバ	送信サーバ	送信メッセージの検索	シート数	追加日	ステータス
			右外	1	2016/08/08 07:51:16	アクティベート資料

※「アクティベート済み」にならない場合は、少し時間をあけて再度実施してください。

5.2. 受信テスト

- 1.テストメール送信 他ドメインのメールアドレス(例 <u>xxx@njc.co.jp</u>)からお客様のメールアドレスへテス トメールを送信します。
- 2.テストメール受信 テストメールを受信します。
- 3.メールの確認
- Windows Live メールの場合
 (1)受信したメールを開きます。
 (2)画面左上のメニューボタンをクリックし、[プロパティ]をクリックします。

新規作成(<u>N</u>)	>	
保存(<u>S</u>)	•	
€D扇J(<u>P</u>)		
✓ לםולהז (<u>R</u>)		
🗙 閉じる(<u>C</u>)		

- (3) [詳細] タブをクリックし、をクリックします。
 - Received:from が「iout2.hes.trendmicro.com」になっていれば、「ESあんしんプラス」を経由しています。

テス	トメール <u>×</u>	
E	≧般 [詳細]	
	このメッセージのインターネット ヘッダー:	
	Return-Path: @nic.co.ip	
	by hesmail.hes.njc.ne.jp (ExpressMail 6.12) with E id 20160801.162112.75803864 for <user01@hes.r< td=""><td></td></user01@hes.r<>	
	; Mon, 1 Aug 2016 16:21:13 +0900 Received: from 209 85 214 44 outmts starcloud.com (upkr	
	by iout2.hes.trendmicro.com (Postfix) with SMTP	

- 4.管理コンソールからの確認方法
 - (1)管理コンソールヘログインします。

(2)メニューバーから [ログ] – [メール追跡] をクリックします。

ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 👻	送信保護設定 👻	隔離 👻	ログ・	管理 🗸	ヘルプ・
ダッシュボード					メールは	<u>追跡</u> -イベント	
管理対象ドメイン		▼ 方向 受信	▼ 一意のメールアト	ペレス数: 0	URLク! 監査ログ	リック追跡 ブ	

ダッシュボード ドメイン	受信保護設定 👻	送信保護設	定 🔹 🛛 隔	雛 ▼ □	ログ・	管理 🔹	ヘルプ・
ログ > メール追跡							
条件							
期間: 開始: 2018/07/05 🖬	13 🔻 : 14 🔻	日時	送信者	0	受任	諸	処理 🛈
終了: 2018/07/06 🗰	13 🔻 : 14 🔻						
方问: 受信	¥						
*受信者: 🚺							
送信者: ①		<.					
種類:							
許可されたトラフィック	۳.						
件名: 🕦							
添付ファイルのSHA256ハッシュ:	0						
検索							

(3) [許可されたトラフィック]を選択し、下記条件入力後 [検索]をクリックします。

検索結果に表示されれば、「ESあんしんプラス」を経由しています。

5.3. 送信テスト

1.テストメール送信

お客様ドメインから他ドメインのメールアドレス(例 <u>xxx@njc.co.jp</u>)へ、 テストメールを送信します。

2.テストメール受信

テストメールを受信します。

3.メールの確認

受信テストと同様の手順で確認してください。 4.管理コンソールで確認

受信テストと同様の手順で確認してください。

